

㊦ 最終報告書

国際交流センター長殿

2020 年 4 月 24 日

O I U 学籍番号	Y18047	氏 名	時任羽咲
国 名	台湾	留学先	中国文化大学
留 学 期 間	2019 年 9 月 4 日 ～ 2020年 1 月 10日		

交換留学が終了しましたので、以下のとおり報告いたします。

記

受講科目	受講期間	週当たり授業時間	取得単位数
初級中文會話	9月～1月	100分	2
初級中文語法	9月～1月	100分	2
初級閱讀寫作	9月～1月	100分	2
中級中文會話	9月～1月	100分	2
中級中文語話	9月～1月	100分	2
中級閱讀寫作	9月～1月	100分	2
觀光日語	9月～1月	100分	2

履修・教務、学習面について

授業1週目にお試し期間として、どの授業にも出ることができます。留学生用の語学の授業は、初級、中級、高級と分かれていて、それぞれに文法、会話、読み書きの授業があります。

授業1週目に筆記と会話のレベル分けテストがあるので、そこで自分のレベルを確認する事ができ、その成績を参考に、とりたい授業を履修しました。履修は文化大学のホームページからでき、わからない事があれば、日本語を話せるサポートの学生が教えてくれます。

中国語の授業の他にも、文化を学べる授業や、留学生以外の本科生の授業を取る事も可能です。学びたい内容を自由に幅広く選択できるのが、すごくいい所だと思いました。

また、文化大学には日本語学科があるため、日本語を学んでいる台湾人学生がたくさんいます。

驚くほど、日本語が上手な生徒がたくさんいます。そのため手続きや、困った時のサポートは日本語学科の生徒がしてくれるため、初めて行く留学で、自身の語学力の面での心配はしなくて良いと思います。

また、日本語学科の台湾人と関わることのできる、日本語コーナーという日本語を使い、

ゲームや会話をしたりする時間が週に3回ほどあり、交換留学生は基本参加をするようになっています。

そこで、台湾人と交流でき、お互いに語学や国のことなどを教えあう事ができて、

留学をしているにあたりとても良い機会になります。その他にも學伴という日本人の交換留学生と

日本語学科の学生とが放課後などに一緒に食事をしたり、休みの日に出かけたり旅行に行くなどができる機会もあります。このように、留学生と文化大学の生徒が関われる機会が多いので、友達もできやすく楽しい留学生活が送れる、とても良い学校です。また、台湾人は優しい性格で人助けをしてくれる人が多いため、生徒はもちろん国際センターの先生も丁寧に对应してくれ、授業の先生もフレンドリーで話しやすく、不安を持つ留学生にとっても安心した留学生活ができると思いました。

学習面で始めは少し戸惑ったのは、簡体字で学習していたため、台湾で使う繁体字になれるのに少し時間がかかりました。教科書も全て繁体字で書いてあるので何週間かで慣れますが、日本で主流な検定試験は、簡体字が多いためまた少し勉強をしなければいけないと感じています。

生活面について

寮・食事について：寮は大学の敷地内にあり、女子寮は基本4人か6人部屋で机付きのベッドを個人で使用できるスペースとして使えます。荷物を入れるクローゼットも設置されています。

シャワー、トイレ、洗面台、洗濯機、乾燥機などは共有で、各階にあります。お湯や水も使用できます。

Wi-Fi環境も整っており、不便は特にありませんでした。寮を出ると、隣の建物にファミリーマート、

薬局、フードコートのような広い食堂があります。ご飯類のほか、フルーツ、ケーキ、パン類、

ドリンク類なども充実しており、値段も安く、美味しく、色々な種類のもものが売っています。

また、食事については寮では自炊が禁止のため、全食事が外食になります。食堂のほかにも、

学校の敷地内には美食街という食事街があり、値段も安く種類も豊富なので食事には困りません。

また、学校の近くには、スーパーやマクドナルド、スターバックス、カフェなどもあります。

生活用品について：基本は大学の敷地内で揃える事ができます。買えないものはほとんどありません。

また、台北市内に行くとき日本製のものも購入できるので、便利です。

大学の設備について：24時間利用できる自習室や図書館、体育館にはジムやプールなどがあります。

学校の設備はすごく整っているため不自由はありません。

交通について：中国文化大学は陽明山という山の上にあります。学校のバス停から、約40分ほどで

台北で有名な士林夜市のある最寄駅まで行くことができます。その駅から台北駅や有名な観光地、

買い物のできる場所まで簡単に行くことができるのでとても便利です。バスや電車に乗るときは、

悠遊卡という交通ICカードが学生証と一緒にあって、大学からもらえるのでそれを使い、交通機関を

利用できます。カードはチャージをして使えます。交通費も安く遠くへも行く事ができるので便利です。

費用概算

この留学にかかった留学費用総額		約	50	万円		
内訳	渡航・帰国費用（航空券）	約	10	万円		
	海外旅行傷害保険	約	16	万円		
	査証（ビザ）取得費用	約	2.4	万円		
	日用品	約	1	万円/月×	4	ヶ月
	食費	約	2	万円/月×	4	ヶ月
	寮費	約	1.2	万円/月×	4	ヶ月
	水・光熱費	約	0	万円/月×		ヶ月
	インターネット	約	0	万円/月×		ヶ月
	利用方法 学内で利用・寮で利用・インターネットカフェ 複数回答可。○をつけること。					
	その他（用途： 携帯代		0.16	万円/月×	12	ヶ月
	その他（用途：	）		万円/月×		ヶ月
（医療費、教科書代、現地携帯電話代などあれば）						

滞在中の経費について

上記の費用概算は4ヶ月間のものであり、保険金等は1年間の予定でかかっていた費用のため、留学中断分の返金がありました。

その他の費用として、教科書代、1年間の留学の場合に必要な、台湾居留証取得費用、寮で使用する布団類や生活に必要なものを現地で購入する費用などが始めにかかります。

留学に行く前に、海外で使えるVISAクレジットカードを用意しました。

VISAクレジットカードは、一時帰国の航空券や留学中にした旅行の時に使いましたが、その他生活する費用は事前に外貨両替し現金を使用していました。

現地で1年間にかかる生活費を一度に両替していたため、保管場所の安全を考え、現地の郵便局で口座をつくり、預けていました。

寮費の支払い、口座開設など全ての手続きは日本語を話せる台湾人学生が手伝いをしてくれるため、安心です。

その他・後輩へのアドバイス

出発前（どの様な準備が必要でしたか）

査証取得のため、日本で健康診断に行きました。費用が病院によって差があり、予約なども必要なため、事前に調べておくが良いと思います。

中国文化大学からメールで、現地の空港までの送迎の連絡や、入寮の日や授業日程の連絡が来るので、見落としのないようにし、その連絡も参考に準備を進めました。

研修中（どの様に学習に取り組むと良いか、余暇の過ごし方）

授業に出ることだけでも、留学生の授業は全て中国語で行うため、成長できると思います。色々な授業に参加することで、外国人の友達もたくさんできるので、話す機会を積極的に作り交流するのが一番ではないかと私は留学を通して感じました。

台湾には観光地だけでなく、素敵な場所もたくさんあるので、色々な所に色々な友達と出かけて余暇を過ごしました。

研修中に困ったことはなんですか。また、どの様に対応しましたか。

居留証ができるのに、時間がかかるため、携帯のSIMカードを契約するのにパスポート以外の身分証が必要なので、困っている学生がいました。

事前に用意するか、サポートしてくれる学生に聞くと対応してもらえます。

自由記入欄（次年度以降の後輩へ向けてのメッセージなど）

台湾は留学生にとって環境や治安がよく、親日でもあるため過ごしやすいです。